

# 衆議院文部科学委員会ニュース

平成 21.5.22 第 171 回国会第 11 号

5 月 22 日（金）、第 11 回の委員会が開かれました。

## 1 独立行政法人日本学術振興会法の一部を改正する法律案（内閣提出第 66 号）

- ・塩谷文部科学大臣、増原内閣府副大臣、並木内閣府大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行い、質疑を終局しました。

（質疑者及び主な質疑内容）

### 松本大輔君（民主）

- ・平成 21 年度補正予算案においては、文部科学省分約 1 兆 3,000 億円のうち 8,000 億円以上が施設整備関連事業として計上されているが、適切と考えるか大臣の見解を伺いたい。
- ・独立行政法人日本学術振興会は、役職員に文部科学省からの出向者の占める割合が高く、天下り先となっている。独立行政法人として、このような在り方は適切ではないと考えるが、大臣の見解を伺いたい。
- ・「世界最先端研究支援強化プログラム」は、社団法人日本経済団体連合会産業技術委員会が平成 21 年 4 月に提言した内容と類似しているが、大臣及び内閣府大臣政務官の見解を伺いたい。
- ・若手研究者海外派遣事業は、基金の方式を取るべきではなく、期間も短すぎて武者修行にならないと思うが、大臣の見解を伺いたい。
- ・先端研究助成基金及び研究者海外派遣基金に基づく業務について、国会への事後報告ではなく、国会の承認事項とすべきと考えるが、内閣府大臣政務官の見解を伺いたい。

### 和田隆志君（民主）

- ・先端研究助成基金は、独立行政法人日本学術振興会ではなく、その研究課題を選定しその成果を評価する総合科学技術会議に設立するべきものとするが、内閣府副大臣の見解を伺いたい。
- ・基金による事業を文部科学省本省において行わない理由について大臣に伺いたい。
- ・国会報告の内容は、研究の進捗状況や予算の支出状況等を想定しているか、大臣の見解を伺いたい。
- ・先端研究助成基金による事業の研究成果は広く国民が共有できるようにすべきと考えるが、大臣の見解を伺いたい。

### 石井郁子君（共産）

- ・競争的資金の導入や運営費交付金及び私学助成金の削減により、研究費は旧 7 帝国大学等に集中し、地方大学や単科大学は大変厳しい状況となる 2 極分化が生じていることについて、大臣の見解を伺いたい。
- ・先端研究助成基金 2,700 億円を重点配分することによって、研究環境の格差等に一層の拍車がかかることについて、大臣の見解を伺いたい。
- ・競争的資金を充実するのではなく、基盤的研究費となる運営費交付金に 2,700 億円を回すべきと考えるが、大臣の見解を伺いたい。
- ・帰国した若手研究者に対する日本国内での雇用が確保されるべきと考えるが、大臣の見解を伺いたい。

### 日森文尋君（社民）

- ・緊急の経済危機対策としている先端研究助成基金の設立の経緯等について、社団法人日本経済団体連合会の提言との関連を含め、大臣及び内閣府の見解を伺いたい。
- ・世界最先端研究支援強化プログラムを 5 年間とする根拠及び総額 2,700 億円とする根拠について、内閣府の見解を伺いたい。
- ・中心研究者及び研究課題は有識者会議が設定しているが、選定基準や選考過程の透明性をどのように確保するのか内閣府の見解を伺いたい。
- ・研究成果が企業等に属するとしているが、国民に広く還元すべきである。研究成果の帰属について、内閣府の見解を伺いたい。

- 2 国公立の高等学校における教育の実質的無償化の推進及び私立の高等学校等における教育に係る負担の軽減のための高等学校等就学支援金の支給等に関する法律案（参議院提出、参法第7号）
- ・ 発議者参議院議員鈴木寛君（民主）から提案理由の説明を聴取しました。